

## 令和6年度広島県感染症対策連携協議会議事要旨

### 1 名称

令和6年度広島県感染症対策連携協議会

### 2 開催日時

令和7年3月27日（木） 18時～19時

### 3 開催場所

広島県広島市南区皆実町一丁目6-29  
広島県保健環境センター2階 会議室

### 4 出席者

令和6年度第1回広島県感染症対策連携協議会 出席者名簿のとおり

### 5 議題

別紙次第のとおり

### 6 公開・非公開の別

公開

### 7 配布資料

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料1 広島県新型インフルエンザ等対策行動計画
- ・ 資料2 広島県新型インフルエンザ等対策行動計画改定の概要
- ・ 資料3 広島県感染症対応人材養成プログラム
- ・ 資料4 広島県感染症予防計画に基づく施策の進捗状況について
- ・ 参考資料 広島県感染症予防計画

### 8 各出席者の発言の要旨

桑原副会長のあいさつにより開会  
大毛会長により議事を進行

## ○報告事項（１）広島県新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について

[事務局]

- ・本協議会内に「新型インフルエンザ等対策行動計画部会」を設置し、改定について３回協議を実施。
- ・資料２を用いて計画改定の趣旨、改定の基本、対策の基本的な考え方、対策項目について説明。

### 【御意見等】

[高蓋委員(舟入市民病院)]

新型コロナ対応をベースとしているが、感染力が強い、重症度が高い等の場合にも対応できるようにしておくとうい。

[中島委員(庄原赤十字病院)]

行政や医療機関がこれをきちんとやっていけば地域の対応力が上がるのではないかと考えられる。

[大橋委員(広島市医師会)]

広島市等と連携をとりながら、新型コロナ対応で実際に体験した経験が生かせるようにしたい。

## ○報告事項（２）広島県感染症対応人材養成プログラムの策定について

[事務局]

本協議会内の「人材育成関係部会」で検討してきたプログラムについて、資料３を用いて説明。

### 【御意見等】

[守屋 石井委員代理(呉市医師会)]

どれだけ実行に移せるかが課題。有効に活用したいと思う。

[福田委員(県保健所長会)]

できる限り努力して人材育成に努めていきたい。

[久保委員(広島大学)]

例えば資料２頁のところ、保健所のサージキャパシティが1,057人であるのに対しIHEAT要員の確保数が22人と少ないので、次の災害ではもっと増やしていけるとよいと思う。

また、新型コロナ対応において、検査実施能力の重要性を実感しており、検査機関の先生方がどのような研修をされるのか、また、枠を超えて、研修企画が情報交換されることについても期待している。

[井藤委員(県病院協会)]

対象者や施設を4つに分けているところが非常にユニーク。  
共通のカリキュラムと独自の内容で研修が受けられるのはよいと思う。

[天間 山崎委員代理(県歯科医師会)]

プログラムを少しでも活用できるようにしていきたい。

[竹本委員(県薬剤師会)]

実効性を考えると、研修はオンデマンド配信でもよいが、訓練は現地開催になると思われる。  
薬局の中で薬を渡すときの感染リスク等についての研修や訓練を実施したい。

[樫山委員(県検査技師会)]

新型コロナ対応において、PCR検査の初動が遅かったという経験をした。  
今年度から県の主導でWEB研修とPCR実習の2回を実施し、来年度も実施を予定している。

## ○協議事項 広島県感染症予防計画に基づく施策の進捗状況について

[事務局]

資料4を用いて、令和6年度に改定した県感染症予防計画の進捗状況を説明。

[岡田委員(広島大学)]

HPVワクチンの接種勧奨等に関しては、小児科ではなく婦人科が主になるが、私自身も興味を持っており、戦略的にもっと広げていく必要があると思っている。

[峠 上田委員代理(広島市)]

当市では積極的にWEB広告、SNSでHPVワクチンの接種勧奨を行っている。  
ここ数年、HPVワクチンの接種者数は増えているが、他のワクチンと比べ接種率はそれほど高くないので、引き続き、接種勧奨を行っていきたい。

[板本委員(県立広島病院)]

協定締結について、新型コロナ対応時に用意した病床数をもとに準備してほしいという要望があったが、あの時はMAXの状態で行っていたため、それをすぐに確保できるかといわれると難しい。  
状況に応じて臨機応変に増減させていけばよいと思っている。

[栗栖委員(中国労災病院)]

当院も臨機応変に対応していけたらと考えており、新型コロナ対応時も「波」によって対象となる数や対応が変わる中でかなりの幅をもって対応してきたので、それを知恵として生かしていきたい。

[石田委員 (JA 広島総合病院)]

実際には臨機応変にしなければならないと理解しているが、病床数の再編などもあり、新型コロナ対応時と同じ体制を確保することは難しいため、初動に関して、受け入れの数を少なめとしている。

[岡田委員 (広島県市長会)]

新型コロナ対応の経験を踏まえた取組を推進し、各種計画・プログラムを実行性のあるものにした

い。  
また、HPV ワクチンの啓発については、県内自治体の優良な取組を参考にさせていただき、各市における啓発にも生かしていきたいと思う。

[奥田委員 (広島県町村会)]

担当課などから町民へ、正確な情報と間違った見識のないよう伝える立場にあるので、混乱しないようにやるためには、専門家の方にご協力いただきたい。

増井委員による北原委員（健康福祉局長）の挨拶代読により閉会